K－1デッキ 文教タイプの利用定着

エア・ウォーター・エコロッカと組合わせ販売拡大

ケーワンシステム

ケーワンシステム（札幌市、原田慶一社長）は、二重床の供給・施工を中心に、外構工事や外構材の販売事業を展開し、道内外での事業拡大に注力している。同社は、エア・ウォーター・エコロッカの北海道地区販売窓口も担っている。

道内を中心とした外構工事では、千歳ラピダスでのデッキ工事をはじめ、大型工場の新設などの需要が追い風となり、年間を通じて工事量は多かった。また、K－1デッキの採用が増えるなかで、「K－1デッキ 文教タイプ」の需要も拡大している。

同文教タイプは、同社が独自開発した高性能デッキシステムで、施主の要望に応えつつ必要な性能を担保した製品だ。体育館に求められる床材の〝適度な硬さと軟らかさ〟を両立し、耐荷重性能試験や転倒衝突時の硬さ試験によって安全性を確認している。デッキ材は、人工木材のほか、杉等の天然木など樹種ごとに試験を行っており、安全性能が確保されたデッキシステムとして、天然木や国産材を活用したい文教施設で採用が増加している。

試験の様子。耐荷重試験（5トン救急車の乗り入れを想定）と走行試験（ローリング試験）をトラックを使って行っている

また、車両の乗り入れが可能な「文教P1 ayタイプ ストロング仕様」も展開し、安全性能を確保した国産材活用デッキとして文教施設での採用が広がっている。

原田社長は「K－1デッキ 文教タイプは、文教施設だけでなく医療、商業施設でも利用されるようになっている。このような実績を踏まえ、より全国的な採用拡大を目指したい」と語る。

26年には、K－1デッキの採用が商業施設や大型宿泊施設の屋上デッキにも広がる見込みで、同社は風圧対応を含めたさらなる研究開発を進める方針だ。

また、同社は24年から、エア・ウォーター・エコロッカの北海道地区販売窓口として本格的に活動しており、K－1デッキとの組み合わせを生かした販売拡大を進める。ケーワンシステムは北海道のほか、東京事務所やフローリング事業を中心とする埼玉事務所（埼玉県新座市）を拠点に事業展開しており、関東圏では引き続き他メーカー製品の取り扱いも可能としている。